

ふりがえりシートより…最終回のワークショップで感じたことをまとめました

あなたが今日気づいたことは？

- ★すばらしい発表でした(全てのテーブル)
- ★農業について各テーブルからあげられたことが良かった。
- ★新市の夢が実現しそう。
- ★プラス思考で合併を考えるとは内容は大きく異なるようですが、マイナス思考の方もいるのでいざとなると大変なんだろうな。
- ★最終回ということで新しい市の感じがつかめた。発表を聞いていると各班とも、概ね考えが同じようだ。
- ★どのグループも地域の個性を大切にしたいと感じていることが分かった。
- ★他のグループの考え方が色々あるものだった。
- ★みんな真剣に楽しく話してよかったなあ。

あなたが今日うれしく思ったこと、満足したことは？

- ★終わったという充実感と満足感。結構楽しかったです。
- ★わいわい話してきたことが一つにまとまって良かった。
- ★どの班にも地産地消とか、高齢者資源とか、小さなコミュニティとか、私が強調したいことが入っていて、みんな同じ思いなんだと感えてうれしかった。
- ★最終回で各グループの結果発表を聞き、また、イメージが膨らむのを感じました。
- ★目的税が皆さんの共感を得たこと。
- ★皆さんユーモアあふれる発表感心しました。
- ★ワークショップでいろいろな人々とだんだん親しくなったこと。
- ★飲み会することになったこと。

あなたが今日不満に思ったこと、悲しかったことは？

- ★話し合ったことがうまくまとまらない面と伝わらないところがあった。
- ★発表がうまくできず、言い足りなかったところが沢山あって悲しかった。
- ★休む人が決まっていること。責任放棄しないでほしい。少なくとも自分の思いは伝えてほしい。
- ★もっともっと時間をかけて話し合えたら…と思いました。今回は最後だと思うと悲しい。
- ★せつかくだからもっと具体的な話がほしかった。
- ★グループの人以外とのふれあいがなかったこと。
- ★テーブルのみなさまとお別れ。

あなたが今日言い残したことは？

- ★顔を見て話し合うことが元気の素だなと思いました。
- ★また、全体で集まる機会を企画してほしい。
- ★今まで良い意見がいっぱいあったのに、発表のまとめの段階になったら忘れてしまっているものが多くあったことに、発表後気がついた。
- ★これだけの人数日数を使ったのだから、新市構想にワークショップの発表を生かして欲しい。
- ★新市に向けて住民の意識改革をどのようにして広めていくか課題だと思います。
- ★他のグループのものもよく見たい。
- ★今日、家内のパースデーでした。

その他

- ★ありがとうございました。良い勉強になりました。
- ★ずいぶんわがままを言わせてもらったのにちゃんと答えてくださってありがとうございました。
- ★こんな会議を各市町村でも是非やってほしい。
- ★班のメンバーに8市町村全ての人がいなかったのは、新市を考える場合、不完全な感じがした。
- ★オリエンテーションがやっと終わったという感想。楽しかったですね。勉強できた。

発行・お問い合わせ:長岡地域任意合併協議会事務局

長岡市幸町2-1-1 長岡市役所内

Tel. 0258-35-1122(代表) 0258-39-2260, 2227(直通) Fax. 0258-39-2254

第4回ワークショップの様子

日時:平成15年5月21日 18:00~21:00
場所:長岡市役所大会議室/34名参加

プログラム

- 18:00 ワークショップ開始
- 19:00 前回のふりがえり
- 19:05 テーブル討議・発表用まとめ
- 19:45 発表
- 20:15 シール投票
- 20:30 話し合い
- 20:50 主催者あいさつ
- 20:55 ふりがえりシート記入/今後について
- 21:00 閉会

提案してほしい内容
合併したらし
うい区域にど
たいか。参加者
士が共有できる
テーマについて
提案する。

当日の流れ

最終発表に向けて、
まとめの作業です。



ワークショップ
で討議した結果を
発表しています。

他班の意見で
できるものを
貼って投票し
ていく。賛成
を貼る。



グループごとの新市将来像

- グループ1
- 命を育みともに育つ
 - 安心安全な食への取り組み
 - 未来を支える子供達にたくさんの体験を
 - 伝統芸能・文化の継承
 - 里山や川がもたらす豊かさを大切に
 - 市町村の枠はいらない
 - ・市民活動の拠点の充実
 - ・活動のネットワークづくり
 - ・色々な個性・能力のコーディネート

- グループ2
- 山と里と都市の調和
- やま…里山の自然を大切にし、子供達の教育の場として活用
いじればいじるほど悪くなるような事をしないで、自然のままにして、動植物と共存
- むら…安全な農産物の供給による、地産地消や農業の充実
- 都市…商業雇用などの都市機能の充実
地場産業の充実

- グループ3
- 世界に向けて子供達に誇れる地域自慢できるまちにしたい
- 地産地消を実践したい
 - 文化(まつり)と食も一緒に交流を盛んにしていきたい
 - 体育施設文化施設を利用し、交流・人材育成したい
 - ボランティア等、人材の交流を進めたい
 - 交通手段を確保
 - 各地域の情報の共有 etc.

- グループ4
- パッチワーク型新市構想
- ゆるやかなつながりからパッチワーク型へ
 - 安全防災は一本化でスピード化
 - 小学校区単位の個性を生かす・学校の個性
 - まちづくりの拠点・コーディネート機関
 - 行政区の線が引かれる前に戻ろう
 - つながりをつくる策…伝統祭などへの参加の仕組みづくり



長岡地域
まちづくり
ワークショップ

かわら版

第4号：新市将来構想に向けての提言を発表しました

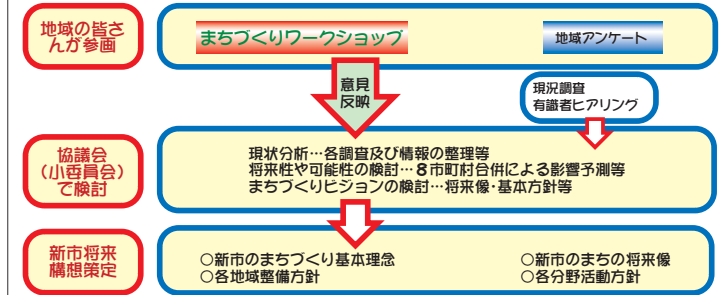
ワークショップのあらまし

平成15年1月に、長岡市・見附市・栃尾市・中之島町・越路町・三島町・山古志村・小国町の8市町村(以下、「長岡地域任意合併協議会」)が、発足しました。現在、8市町村の代表が、長岡地域の広域合併に向けて、さまざまな協議を進めています。

その中、合併した場合の8市町村の目指すべき将来像を「新市将来構想」として定める作業があります。

「新市将来構想」を定めるにあたり、まちづくりの方向性や地域の将来像について地域の皆さんの意見・要望を反映させるために、地域の皆さんの意向を探る「地域アンケート」の他、まちづくりの将来像を地域の皆さん同士で話し合っ、提案してもらう目的で、「まちづくりワークショップ」を行いました。

新市将来構想策定の流れ



ワークショップの流れ

- 今回は最終回となるまちづくりワークショップでは、各グループで討議・作業を重ねてきた、新市の将来像について発表を行うとともに、参加者全員でシール投票をし、参加者の心を打った新市将来像を共有しました。
- 第1回(4/17) ●ワークショップのテーマ・進め方の検討
 - 第2回(5/2) ●地域の宝物・自慢・個性 ●新しい地域の姿・イメージ
 - 第3回(5/13) ●地域の将来像について発表を行うとともに、参加者全員でシール投票をし、参加者の心を打った新市将来像を共有しました。
 - 第4回(5/21) ●まとめと結果発表
- ※予定していた4回以外にも、グループでの話し合いが行われました。

グループ5

- テーマは「わ」、色々な「わ」をつくるのは「人」～人が育ち、住んでいる人、出ていった人が「わ」をつくっていくまち
- 小さなコミュニティが生き続けるまち
 - みんなが集まれる場所と喜びのあるまち
 - 心にききおものがたりができるまち
 - ゆったりできるまち、受け入れてくれるところがあるまち
 - やりたいことができ、したくない人はしなくても良いまち
⇒ストレスのたまらないまち
⇒帰ってくるのが楽しみなまち

グループ6

- 新しい地域のテーマ
- 深呼吸してごらん、まちに元気の素があるから
 - 未来を見つめ育てるまち
 - 古きを尊ぶ未来都市
- 地域で大切にすること
- 老人が先生…ゆつくりスラム
 - 自ら考える知恵を付けよう



発表に向けて最後の話し合いです。